

単元名 めざせ楽器名人

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) リコーダー・アンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06070105_001

【教材名】The Sound of Music (器楽) (P.18)

【準備等】範奏CD, リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 音色や旋律の関わり合いを意識して二部合奏に取り組む</p> <p>★たがいのパートをきき合って演奏しよう</p> <p>○範奏を聴き、大まかに曲想を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範奏を聴く。 ・ダル・セーニョ、コーダの働きと、曲の演奏順について確認する。 <p>○上声部を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シトや臨時記号の音の運指を確認してから吹く。 ・フレーズを感じながら丁寧に演奏する。 ・どのような音色で吹くとよいか考え、タンギングや息の流れ、ブレスなどに留意して演奏する。 <p>○下声部を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時記号の運指を確認する。 ・フレーズを感じながら丁寧に演奏する。 ・どのような音色で吹くとよいか考え、タンギングや息の流れ、ブレスなどに留意して演奏する。 <p>○二部合奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスを2つに分けて演奏する。 ・演奏する声部を交代して演奏する。 ・楽曲の特徴（動機の繰り返し、声部の重なり方など）について気付いたことを交流しながら演奏する。 <p>○表現を工夫しながら演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より豊かな演奏にするための工夫を話し合う。 ・フレーズの出だしをそろえる ・声部の音量のバランスを整える ・フレーズの区切り方 ・息の使い方 ・音色 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の進み方が複雑であるため、ダル・セーニョやコーダなどを丁寧に確認させる。 ・曲想に合った柔らかいタンギングや息の使い方を心掛けるようにさせる。 【共通事項】音色 フレーズ 音の重なり ・カノンのような重なりでの追いかけっこ、和声的な重なりでのハーモニーなど、声部の重なり方の違いを意識し、互いに聴き合って演奏できるようにする。 【評】各声部の音や全体の響きを聴いて演奏する活動を通して「技能」を評価する。 【評】リコーダー・アンサンブルする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】リコーダーの音色や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 【評】曲想と、声部の役割など音楽の構造やリコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて話し合う活動を通して「知識」を評価する。

【 備 考 】